

佐伯市立小・中学校再編（案） 地区意見交換会

佐伯市教育委員会

目次

- 1 今回の説明会の趣旨とこれまでの経過
- 2 小・中学生の現状と今後の見通し
- 3 学校の再編に関するアンケート調査結果について
- 4 学校再編することのメリット・デメリット
- 5 適正な学校規模の考え方
- 6 小・中学校再編（案）
- 7 中学校再編後の学校規模
- 8 小学校再編後の学校規模
- 9 小・中学校再編までのスケジュール案

1 今回の説明会の趣旨とこれまでの経過

<説明会の趣旨>

教育委員会では、急速な少子化に伴う児童・生徒数の減少、学校施設の老朽化などを踏まえ、こどもたちにより良い教育環境を整備するため、小・中学校の再編について検討を進めています。

令和7年度からは、外部有識者等で構成する「佐伯市立幼稚園及び小・中学校教育問題検討協議会」において、小・中学校の再編について検討を重ねてきました。

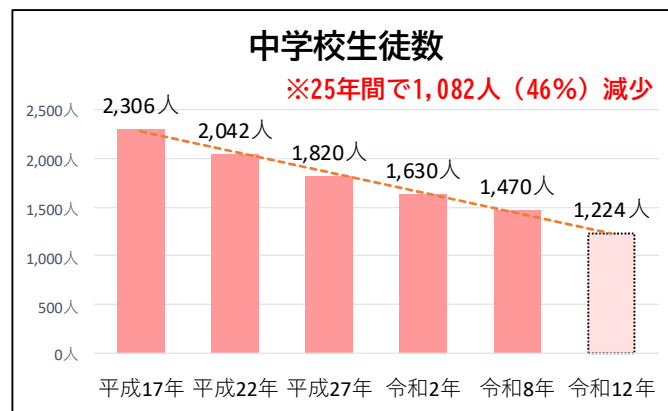
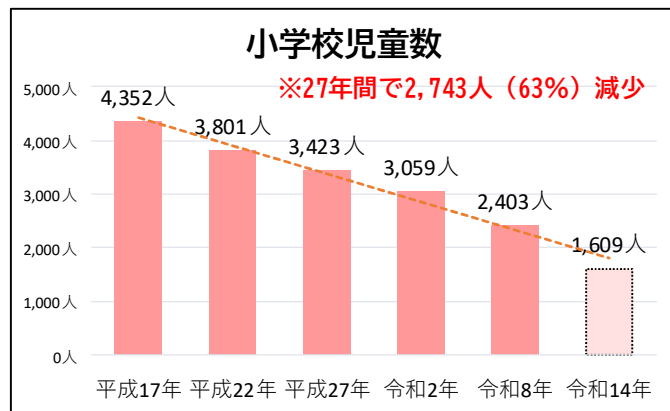
現在、「佐伯市立小・中学校再編（案）」の方向性がまとまってきたことから、その内容や考え方を保護者・地域の皆さまにご説明し、ご意見を伺います。

※「佐伯市立幼稚園及び小・中学校教育問題検討協議会」は教育委員会の依頼を受け、市立幼稚園及び小・中学校に関する課題について、有識者などが調査・審議し、その結果を教育委員会に示すために設置された組織です。協議会の委員には大学教授や学校関係者、PTA連合会、学校教育や地域活動、子育て支援などに関わる各分野の関係者など、20人の委員が参加しています。

※今回ご説明する内容は「案」であり、再編が決定したものではありません。

<これまでの経過>

令和5年5月	「佐伯市立小・中学校の今後の在り方（適正規模・適正配置）に関する基本方針」を策定
令和6年5月～令和7年3月	「佐伯市立小・中学校統廃合案検討プロジェクトチーム（佐伯市教育委員会内）」を設置・検討
令和7年9月	「佐伯市立幼稚園及び小・中学校教育問題検討協議会」へ小・中学校再編案について検討を依頼（令和7年9月から令和8年9月までの期間中、6回開催し、調査・審議を行った）
令和7年11月～令和8年1月	佐伯市立小・中学校の再編（統廃合等）に関するアンケート調査を実施（佐伯市立小・中学校の児童・生徒及び未就学児の保護者向け）
令和8年9月～10月	佐伯市立小・中学校再編（案）に関する地区意見交換会を実施



小学校（学校規模）

普通学級数	R8	R14
～5学級 （複式学級有り）	7校	8校
6学級	7校	6校
7～11学級	2校	2校
12～18学級	2校	2校

小学校 学校別児童数（人）

学校名	R8	R14	差
佐伯小	233	179	△ 54
佐伯東小	133	70	△ 63
渡町台小	434	311	△ 123
鶴岡小	490	344	△ 146
上堅田小	218	147	△ 71
八幡小	88	57	△ 31
下堅田小	133	80	△ 53
木立小	2複 39	2複 28	△ 11
東雲小	2複 21	2複 17	△ 4
明治小	171	77	△ 94
上野小	109	119	10
切畑小	65	2複 30	△ 35
本匠小	2複 15	2複 5	△ 10
宇目緑豊小	2複 36	2複 19	△ 17
直川小	2複 30	2複 25	△ 5
松浦小	2複 33	2複 14	△ 19
米水津小	2複 28	2複 11	△ 17
蒲江翔南小	127	76	△ 51
合計	2,403	1,609	△ 794

中学校 学校別生徒数（人）

学校名	R8	R12	差
鶴谷中	454	342	△ 112
佐伯城南中	325	311	△ 14
彦陽中	53	44	△ 9
佐伯南中	227	198	△ 29
東雲中	15	10	△ 5
昭和中	188	177	△ 11
本匠中	19	9	△ 10
宇目緑豊中	34	21	△ 13
直川中	20	11	△ 9
鶴見中	28	17	△ 11
米水津中	24	12	△ 12
蒲江翔南中	83	72	△ 11
合計	1,470	1,224	△ 246

※令和20年度の推計では、中学校生徒数の合計は約700人となる見込みです。

中学校（学校規模）

普通学級数	R8	R12
3学級	8校	8校
4～11学級	3校	4校
12～18学級	1校	0校

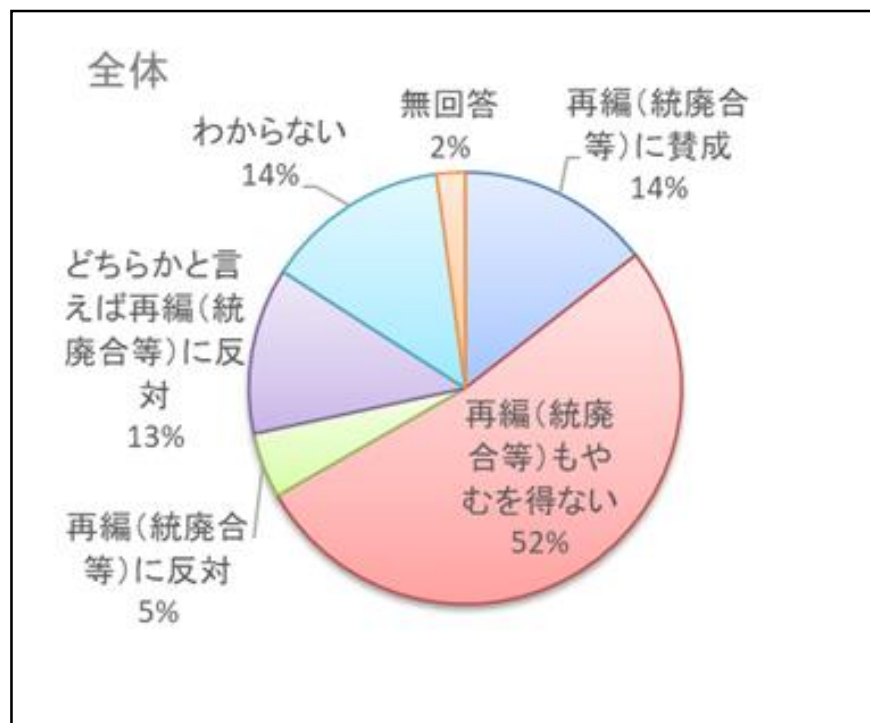
※複式学級とは、2つ以上の学年を1つの教室で指導する学級。表内の「2複」は複式学級が2つ設置されている学校であることを示す。

※県の措置により複式学級を有する中学校はない

3 学校の再編に関するアンケート調査結果について

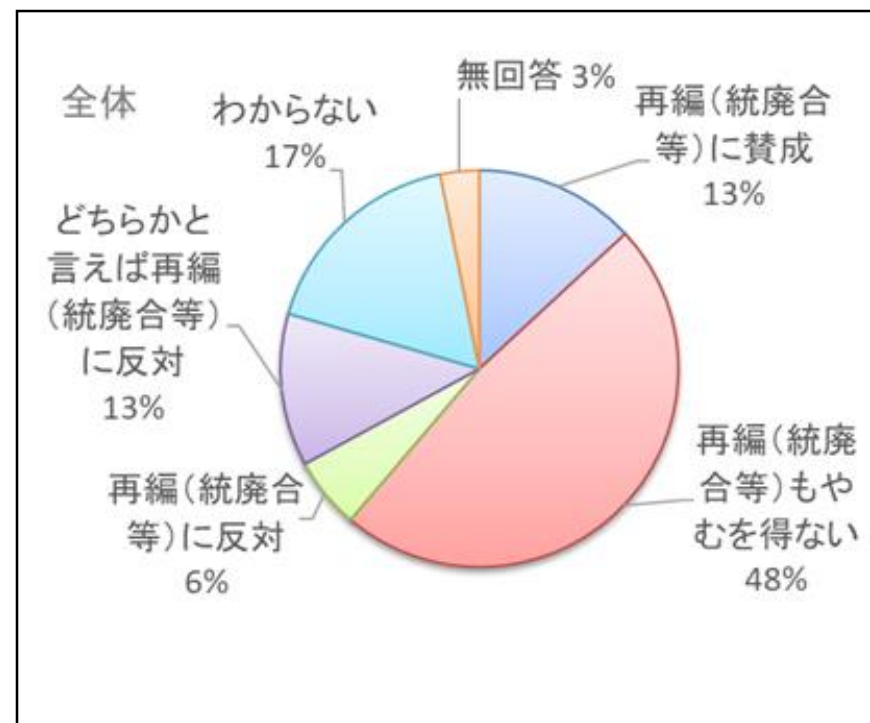
- 調査対象者 佐伯市立小・中学校の児童・生徒及び未就学児の保護者
 - 調査期間 令和7年11月28日～令和8年1月9日
 - 回答状況 回答数：1,550件 回答率：約44.4%
 - 内容 学校規模・学級数に対する考えや、再編（統廃合等）への賛否、理由、不安等について調査
- ※アンケートの調査結果については、市のホームページに掲載しています。

<小学校の再編に対する意識についての賛否>



- 再編肯定 約66%
 - 再編慎重反対 約18%
- ※残りの16%はわからない・無回答

<中学校の再編に対する意識についての賛否>



- 再編肯定 約61%
 - 再編慎重反対 約19%
- ※残りの20%はわからない・無回答

4 学校再編することのメリット・デメリット

メリット（期待されること）	デメリット（課題）
○集団で行う学習や活動の充実を図ることができ、社会性が育まれるとともに、互いに切磋琢磨することができる。 ○教職員の配置が充実し、授業研究会をより活発に行うことができる。 ○中学校では、教科の専門性を有する教員の配置が進むことで今以上に学力向上につながることを期待される。 ○こどもにかかる費用の保護者負担が小さくなる。 ○学校施設において、より充実した改修等を計画することができる。 ○1学年の学級数が増える場合は、クラス替えが可能となる。 など	○学習環境や人間関係が大きく変化することにより、一時的な心理的負担を生じることが懸念される。 ○校区が広くなることによって、急な対応の変更が難しくなる。 ○地域の人が学校に関わる機会が減り、地域とのつながりが弱くなることが懸念されるため、学校と地域との交流が今以上に求められる。 ○学校再編に伴い、通学距離が長くなったり、通学方法の変更が必要になったりすることにより、日常生活に変化が生じることが懸念される。 など

<デメリット（課題）解決への取組>

●児童・生徒の通学距離・通学時間について

- ・学校再編により通学する学校が変更となる場合は、スクールバス等の通学支援を行います。
- ・登下校時の安全を確保するため、通学路の継続的な点検や必要な安全対策に取り組みます。

●学習環境や人間関係の変化による心理的負担の解消

- ・再編前の準備期間中に学校間の交流事業等を実施し、児童・生徒同士が互いに顔なじみとなり、安心して新しい学校生活をスタートできるよう、準備期間を確保した上で、丁寧な移行支援を行います。

●地域・家庭・学校の交流・連携

- ・地域行事や地域学習などを通じて、地域の方々と児童・生徒が交流する機会を確保します。
- ・地域・家庭・学校が継続的に連携できる体制づくり（コミュニティ・スクール）を進めます。

●学校再編に伴うその他の課題への対応

- ・児童クラブや地域コミュニティ、防災などについては、関係部署と連携して取り組みます。

【文部科学省】「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」より

<望ましい学級数の考え方>

- 小学校ではまず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教師を配置するためには1学年2学級以上（12学級以上）あることが望ましいものと考えられます。
- 中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教師を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となります。また、同一教科の免許を保有している教師を複数配置するためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。

【佐伯市教育委員会】学校教育指導方針より

<佐伯市が目指す子ども像>

- 自分の考えをもち、自分の言葉で表現できるこども
- 自他を大切にし、力を合わせて活動するこども

この基本方針に基づき、学校では児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで、一人一人の資質や能力を伸ばす教育を実施しています。このような学校の特質を踏まえ、小・中学校においては、一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられています。

「佐伯市立小・中学校の再編（統廃合等）に関するアンケート調査」集計結果より

<1学級当たりの適正人数について>

【小学校】	【中学校】
●10人以下 2%	●10人以下 1%
●11～20人 36%	●11～20人 18%
●21～30人 56%	●21～30人 67%
●31人以上 3%	●31人以上 6%
●無回答等 3%	●無回答等 8%



<小学校再編案> 1学年20人以上で編制できるように再編

<中学校再編案> 1学年2学級以上かつ1学級20人以上で編制できるように再編

※通学に1時間以上かかる場合は再編しない

佐伯小学校区「西谷・大手・花園・中央・船頭町・池船・城南地区」は佐伯城南中学校へ、それ以外の地区は鶴谷中学校へ進学します。

- ・ 渡町台小・鶴岡小・佐伯城南中は再編対象外
- ・ 宇目緑豊小・中、蒲江翔南小・中については通学に1時間以上かかる地域があるため、再編の対象外としています。ただし、今後の児童生徒数の減少等の状況に応じて、柔軟に対応します。

- ・ 「小規模特認校」とは小規模校において特色ある教育活動を展開しながら、通学区域外からの入学・転学を受け入れる学校。本匠小・中学校は小規模特認校として存続します。
- ・ 本匠地域の児童・生徒は統合小中Ⅲが指定校となりますが、本匠小中（小規模特認校）も選択できます。

《小学校》 令和14年度開校時

再編前	再編後
① 渡町台小学校（311）	① 渡町台小学校（311）
② 佐伯小学校（179）	② 統合小学校Ⅰ（323） <学校の位置> 佐伯小学校
③ 佐伯東小学校（70）	
④ 八幡小学校（57）	
⑤ 東雲小学校（17）	
② 佐伯小学校	② 統合小学校Ⅰ
⑥ 鶴岡小学校（344）	③ 鶴岡小学校（344）
⑦ 上堅田小学校（147）	④ 統合小学校Ⅱ（280） <学校の位置> 上堅田小学校
⑧ 下堅田小学校（80）	
⑨ 木立小学校（28）	
⑩ 松浦小学校（14）	
⑪ 米水津小学校（11）	
⑫ 上野小学校（119）	⑤ 統合小学校Ⅲ（256） <学校の位置> 上野小学校
⑬ 明治小学校（77）	
⑭ 切畑小学校（30）	
⑮ 本匠小学校（5）	
⑯ 直川小学校（25）	
⑰ 宇目緑豊小学校（19）	⑥ 宇目緑豊小学校（19）
⑱ 蒲江翔南小学校（76）	⑦ 蒲江翔南小学校（76）
⑮ 本匠小学校（小規模特認校）	⑧ 本匠小学校（小規模特認校）



進学先

《中学校》 令和12年度開校時

再編前	再編後
① 鶴谷中学校（342）	① 統合中学校Ⅰ（396） <学校の位置> 鶴谷中学校
② 彦陽中学校（44）	
③ 東雲中学校（10）	
④ 佐伯城南中学校（311）	② 佐伯城南中学校（311）
⑤ 佐伯南中学校（198）	③ 統合中学校Ⅱ（227） <学校の位置> 佐伯南中学校
⑥ 鶴見中学校（17）	
⑦ 米水津中学校（12）	
⑧ 昭和中学校（177）	④ 統合中学校Ⅲ（197） <学校の位置> 昭和中学校
⑨ 本匠中学校（9）	
⑩ 直川中学校（11）	
⑪ 宇目緑豊中学校（21）	⑤ 宇目緑豊中学校（21）
⑫ 蒲江翔南中学校（72）	⑥ 蒲江翔南中学校（72）
⑨ 本匠中学校（小規模特認校）	⑦ 本匠中学校（小規模特認校）

◎学校名横の（ ）内は統合中学校開校時[令和12年度]、統合小学校開校時[令和14年度]の児童・生徒数推計
※小規模特認校は推計できないため、児童・生徒数を記載していない。

今回ご説明する内容は「案」であり、再編が決定したものではありません。
皆さまからいただいたご意見を踏まえ、今後さらに検討を進めていきます。

中学校再編後の学校規模

○1学年2学級以上かつ1学級20人以上で編制できるように再編します。

○宇目緑豊中・蒲江翔南中は通学に1時間以上かかる地域があるため、再編の対象としません。

※通学距離・通学時間は現時点の生徒の通学実態を基に、最も遠距離から通学している生徒を基準として算定

●再編対象校のうち、中学校から再編を進めます。中学校の統合を先行して実施することにより、小学生は統合後の環境で学校生活を送る兄・姉や先輩の中学生の姿を目にすることができる。そのため、小学生は進学後の学校生活を具体的にイメージしやすくなり、統合に対する不安の軽減や新たな教育環境への円滑な適応が期待されます。

●中学校を適正規模にすることで、専門教員を配置しやすくなり、学習環境の充実につながります。

●令和13年度の次期学習指導要領の全面实施を見据え、再編を進めることで、新たな教育環境への円滑な移行と教育環境の充実を図ります。

《令和8年度（令和8年5月1日時点）》

学校名	1年 生徒	1年 学級	2年 生徒	2年 学級	3年 生徒	3年 学級	生徒 総数
鶴谷中	146	5	143	4	165	4	454
彦陽中	14	1	17	1	22	1	53
東雲中	2	1	7	1	6	1	15
佐伯南中	72	3	76	2	79	2	227
鶴見中	13	1	6	1	9	1	28
米水津中	8	1	10	1	6	1	24
昭和中	63	2	66	2	59	2	188
本匠中	10	1	5	1	4	1	19
直川中	8	1	1	1	11	1	20
佐伯城南中	109	4	104	3	112	3	325
宇目緑豊中	9	1	9	1	16	1	34
蒲江翔南中	16	1	34	1	33	1	83
合計	470	22	478	19	522	19	1,470

《令和12年度》

1年 生徒	1年 学級	2年 生徒	2年 学級	3年 生徒	3年 学級	生徒 総数
88	3	131	4	123	4	342
17	1	17	1	10	1	44
3	1	3	1	4	1	10
58	2	71	2	69	2	198
5	1	5	1	7	1	17
4	1	3	1	5	1	12
53	2	56	2	68	2	177
1	1	3	1	5	1	9
4	1	6	1	1	1	11
101	4	102	3	108	3	311
6	1	6	1	9	1	21
19	1	29	1	24	1	72
359	19	432	19	433	19	1,224

《再編後の学校規模（令和12年度）》

学校名	1年 生徒	1年 学級	2年 生徒	2年 学級	3年 生徒	3年 学級	生徒 総数
統合中学校Ⅰ (鶴谷・彦陽・東雲)	108	4	151	4	137	4	396
統合中学校Ⅱ (佐伯南・鶴見・米水津)	67	3	79	2	81	3	227
統合中学校Ⅲ (昭和・本匠・直川)	58	2	65	2	74	2	197
佐伯城南中学校	101	4	102	3	108	3	311
宇目緑豊中学校	6	1	6	1	9	1	21
蒲江翔南中学校	19	1	29	1	24	1	72
本匠中学校	-	-	-	-	-	-	-
	359	15	432	13	433	14	1,224

※学級数は、中学1年は30人（18人を下限）、中学2～3年は40人で算出

※本匠中学校は小規模特認校として存続します。再編後の本匠中学校については、小規模特認校であるため推計が困難であり、数値は記載していない。

小学校再編後の学校規模

○1 学年20人以上で編制できるように再編

○宇目緑豊小・蒲江翔南小は通学に1時間以上かかる地域があるため再編の対象としません。

※通学距離・通学時間は現時点の児童の通学実態を基に、最も遠距離から通学している児童を基準として算定。

●中学校の再編を先行して進め、その後、小学校の再編に取り組みます。

●小学校については、複数の学校が統合されることにより、特に低学年の児童にとっては、学習環境や人間関係が大きく変化し、心理的な負担を生じることが懸念されます。そのため、登下校時における安全確保の徹底や心身の安定に向けた体制整備が重要です。また、統合前に学校間の交流等を実施し、児童同士が互いに顔なじみとなり、安心して新しい学校生活をスタートできるよう、準備期間を確保した上で、丁寧な移行支援を行う必要があると考えています。

●令和12年度に全面実施される次期学習指導要領の趣旨を踏まえ、再編を進めることで、令和14年度の小学校開校に向けた準備期間を確保し、児童の円滑な適応につなげます。

◀ 令和8年度児童数 (令和8年5月1日時点) ▶

学校名	1年 児童	1年 学級	2年 児童	2年 学級	3年 児童	3年 学級	4年 児童	4年 学級	5年 児童	5年 学級	6年 児童	6年 学級	児童 総数
佐伯小	32	1	38	2	36	2	40	2	41	2	46	2	233
佐伯東小	17	1	18	1	22	1	21	1	29	1	26	1	133
渡町台小	56	2	72	3	50	2	88	2	73	3	95	3	434
鶴岡小	72	3	79	3	81	3	84	3	88	3	86	3	490
上堅田小	49	2	25	1	38	2	40	1	37	2	29	1	218
八幡小	12	1	9	1	17	1	17	1	10	1	23	1	88
下堅田小	17	1	23	1	15	1	24	1	27	1	27	1	133
木立小	6	1	5		5	1	7		5	1	11	1	39
東雲小	3	1	4		3	1	3		4	1	4	1	21
上野小	19	1	13	1	21	1	11	1	27	1	18	1	109
明治小	28	1	31	1	24	1	32	1	28	1	28	1	171
切畑小	9	1	9	1	8	1	13	1	13	1	13	1	65
本匠小	1	1	1		1	1	3		5	1	4	1	15
宇目緑豊小	4	1	5		6	1	6	1	9		6	1	36
直川小	9	1	3		4	1	6		1	1	7	1	30
松浦小	5	1	4		5	1	5		7	1	7	1	33
米水津小	5	1	5		4	1	3		5	1	6	1	28
蒲江翔南小	17	1	16	1	19	1	29	1	24	1	22	1	127
合計	361	22	360	16	359	23	432	16	433	23	458	23	2,403



◀ 令和14年度児童数 ▶

※児童数推計値 (赤字が再編対象)

学校名	1年 児童	1年 学級	2年 児童	2年 学級	3年 児童	3年 学級	4年 児童	4年 学級	5年 児童	5年 学級	6年 児童	6年 学級	児童 総数
佐伯小	27	1	29	1	26	1	31	1	27	1	39	2	179
佐伯東小	7	1	13	1	10	1	12	1	19	1	9	1	70
渡町台小	43	2	58	2	45	2	52	2	59	2	54	2	311
鶴岡小	42	2	57	2	44	2	57	2	69	2	75	3	344
上堅田小	16	1	24	1	17	1	28	1	26	1	36	2	147
八幡小	4	1	8	1	9	1	9	1	12	1	15	1	57
下堅田小	9	1	17	1	12	1	15	1	11	1	16	1	80
木立小	4	1	7		3	1	3		7	1	4	1	28
東雲小	3	1	4		1	1	2		3	1	4	1	17
上野小	20	1	22	1	17	1	24	1	17	1	19	1	119
明治小	8	1	10	1	17	1	12	1	13	1	17	1	77
切畑小	3	1	4		4	1	7		4	1	8	1	30
本匠小	0	0	1		3	1	0	0	0	0	1	1	5
宇目緑豊小	2	1	4		1	1	4		3	1	5	1	19
直川小	3	1	2		2	1	7		5	1	6	1	25
松浦小	2	1	3	1	0	0	3		5	1	1	1	14
米水津小	2	1	2		1	1	1		1	1	4	1	11
蒲江翔南小	15	1	13	1	8	1	12	1	14	1	14	1	76
合計	210	19	278	13	220	19	279	12	295	19	327	23	1,609

小学校再編後の学校規模

《令和14年度》

学校名	1年 児童	1年 学級	2年 児童	2年 学級	3年 児童	3年 学級	4年 児童	4年 学級	5年 児童	5年 学級	6年 児童	6年 学級	児童 総数
佐伯小	27	1	29	1	26	1	31	1	27	1	39	2	179
佐伯東小	7	1	13	1	10	1	12	1	19	1	9	1	70
八幡小	4	1	8	1	9	1	9	1	12	1	15	1	57
東雲小	3	1	4		1	1	2		3	1	4	1	17
渡町台小	43	2	58	2	45	2	52	2	59	2	54	2	311
鶴岡小	42	2	57	2	44	2	57	2	69	2	75	3	344
上堅田小	16	1	24	1	17	1	28	1	26	1	36	2	147
下堅田小	9	1	17	1	12	1	15	1	11	1	16	1	80
木立小	4	1	7		3	1	3		7	1	4	1	28
松浦小	2	1	3	1	0	0	3		5	1	1	1	14
米水津小	2	1	2		1	1	1		1	1	4	1	11
上野小	20	1	22	1	17	1	24	1	17	1	19	1	119
明治小	8	1	10	1	17	1	12	1	13	1	17	1	77
切畑小	3	1	4		4	1	7		4	1	8	1	30
本匠小	0	0	1		3	1	0	0	0	0	1	1	5
直川小	3	1	2		2	1	7		5	1	6	1	25
宇目緑豊小	2	1	4		1	1	4		3	1	5	1	19
蒲江翔南小	15	1	13	1	8	1	12	1	14	1	14	1	76
合計	210	19	278	13	220	19	279	12	295	19	327	23	1,609

※  は複式学級

※学級数は小学1年及び2年は30人（18人を下限）、小学3年から6年までは35人で算出

※本匠小学校は小規模特認校として存続します。再編後の本匠小学校については、小規模特認校であるため推計が困難であり、数値は記載していない。

再編後の学校規模 《令和14年度》

学校名	1年 児童	1年 学級	2年 児童	2年 学級	3年 児童	3年 学級	4年 児童	4年 学級	5年 児童	5年 学級	6年 児童	6年 学級	児童 総数
統合小学校Ⅰ	41	2	54	2	46	2	54	2	61	2	67	2	323
佐伯小													
佐伯東小													
八幡小													
東雲小													
渡町台小	43	2	58	2	45	2	52	2	59	2	54	2	311
鶴岡小	42	2	57	2	44	2	57	2	69	2	75	3	344
統合小学校Ⅱ	33	1	53	2	33	1	50	2	50	2	61	2	280
上堅田小													
下堅田小													
木立小													
松浦小													
米水津小													
統合小学校Ⅲ	34	1	39	2	43	2	50	2	39	2	51	2	256
上野小													
明治小													
切畑小													
本匠小													
直川小													
宇目緑豊小	2	1	4		1	1	4		3	1	5	1	19
蒲江翔南小	15	1	13	1	8	1	12	1	14	1	14	1	76
本匠小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
合計	210	19	278	13	220	19	279	12	295	19	327	23	1,609

再編前	再編後	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度	令和１４年度	
鶴谷中	統合中学校Ⅰ ＜学校の位置＞ 鶴谷中学校	【方針決定】 ●地区説明会 ●意見募集 (パブリックコメント) ●再編基本方針作成	【合意形成】 ●地区説明会 保護者説明会	【教員間連携】 【生徒間連携】	【教員間連携】 【生徒間連携】	★令和１２年４月開校	◆新学習指導要領 全面实施		
彦陽中				●統合推進委員会の設置・開催					
東雲中									
佐伯南中	統合中学校Ⅱ ＜学校の位置＞ 佐伯南中学校		●再編基本計画策定	●教育環境整備 ・通学関係 ・備品関係等 ・施設改修					
鶴見中				●学校運営関係協議					
米水津中			●各種交流事業						
昭和中	統合中学校Ⅲ ＜学校の位置＞ 昭和中学校			●閉校記念事業 実行委員会の立ち上げ、内容検討、記念誌作成					
本匠中									
直川中									

○統合の形態：編入統合
(例 彦陽中・東雲中を閉校し、鶴谷中
に統合する)

○校舎の活用：統合後の生徒数に対応
可能な既存校舎を活用

○校名変更及び、大規模な施設改修を
行わない場合の最短のスケジュール案

再編前	再編後	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度	令和１４年度		
佐伯小	統合小学校Ⅰ ＜学校の位置＞ 佐伯小学校	【方針決定】 ●地区説明会 ●意見募集 （パブリックコメント） ●再編基本方針作成	【合意形成】 ●地区説明会 保護者説明会 ●再編基本計画策	【教員間連携】 【児童間連携】	【教員間連携】 【児童間連携】	【教員間連携】 【児童間連携】	【教員間連携】 【児童間連携】	★令和１４年４月開校		
佐伯東小						●統合推進委員会の設置・開催				
八幡小										
東雲小				統合小学校Ⅱ ＜学校の位置＞ 上堅田小学校			●教育環境整備 ・通学関係 ・備品関係等 ・施設改修			
上堅田小	●学校運営関係協議		◆新学習指導要領 全面实施							
下堅田小										
木立小	統合小学校Ⅲ ＜学校の位置＞ 上野小学校			●各種交流事業						
松浦小										
米水津小										
上野小										
明治小	統合小学校Ⅲ ＜学校の位置＞ 上野小学校					●閉校記念事業 実行委員会の立ち上げ、内容検討、 記念誌作成				
切畑小				統合小学校Ⅲ ＜学校の位置＞ 上野小学校						
本匠小										
直川小										

○統合の形態：編入統合
(例 八幡小・東雲小・佐伯東小を閉校
し、佐伯小に統合する)

○校舎の活用：統合後の生徒数に対応
可能な既存校舎を活用

○校名変更及び、大規模な施設改修を
行わない場合の最短のスケジュール案